一般質問

議席13番　中村　治雄　議員

Q.合併不成立後近隣市町村の首長や議会と協議はしたか、又今後の合併に対する町長の考え、及び今後単独で行政運営が出来ると考えているのか

A.住民投票の結果、合併をしない選択肢を選んだので、当面は単独で頑張って行かなければならない。

近隣の五霞・古河・坂東の首長さんとはことあるごとに合併の話しをしているが、古河と坂東は合併したばかりで、今調整中であり、また、五霞は町長選で単独行政運営を選挙公約にしていたことから、近隣市町とは当面そういう議論にはなって行かないのが現実である。

次に、単独で財政的にやって行けるかについては、今100年に一度の不景気と言われている中、税収は落ち込んでいるが、引き続き行財政改革を行い住民サービスを低下させることなく単独でも立派にやっているではないかと言われるまちづくりを進めて行く。

Q.現在までの公共下水道と農業集落排水の進捗状況と未着工地域への取り組みは

A.平成2年度から着工し、既に市街化区域は完了し、現在市街化区域に隣接する長井戸、猿山及び下小橋の一部に地区を拡大するための認可を得て、今年度は長井戸を中心に整備を行い、順次整備をしていく。

農業集落排水については、長田北部地区（下砂井・栗山・蛇池）は既に供用開始し、平成12年度には、境地区（浦向・金岡・一ノ谷及び下小橋と染谷の一部）、平成21年度には、境第3地区（塚崎・横塚）、境第4地区（稲尾・志鳥）が供用を開始している。

Q.次に、未着工地区への今後の取り組みについては

A.公共下水道については、県との協議が必要となるが、流域下水道の幹線沿いが最も効果的であると考える。

平成25年度以降は総合運動場周辺の上小橋の一部を都市計画決定し、整備に着手したい。

農業集落排水事業については、平成24年度事業採択に向け境第5地区（若林蓮台・本田。新田及び百戸）を予定している。いずれにしても多額な費用が必要であるため、町財政事情が大きく左右されることをご理解いただきたい。

Q.JT跡地の町所有地の土地に造る子育て支援センターの進捗状況は

A.昨年は、一年間百条特別委員会や住民訴訟があり、百条特別委員会は終結したが・訴訟は今も継続中であり、中々ウエルシアの積極的な協力が得られない状況である。又、ウエルシアの社長が入院してしまったので積極的な協議ができないのが現状であるが、ウエルシアさんが建ててくれる約束はいきている。

議席12番　齊藤　政一　議員

静地区集落排水事業について

Q.200数箇所におよぶ通信ケーブルの接続補修再工事に至った経緯と、これらの最終確認結果の対応について

A.メーカーである積水化学の責任において、最終点検確認を行う予定になっている。通電試験を実施し利用に支障のないよう万全を期す。

Q.ケーブルの接続補修再工事に要した会計処理と、今後道路沈下等復旧工事の保証について

A.平成18年度19年度の施工済については、契約上の瑕疵担保責任期間にあたることから、施工業者に全額負担させる。それ以前の箇所については、町単独事業費として、全工事費用から直接工事費を除いた部分を予算執行した。

道路沈下等の復旧については、沈下箇所の調査、把握を行い、維持管理を行う事業主体としての工事予算と、道路管理上の中で修復を考えていく。

Q.新規加入者の分担金について

A.分担金のほかに公共汚水マス工事にかかる費用が、100万円という多額の費用がかかるため、不足する費用を新規加入者の方に負担していただく。

議席5番　須藤　信吉　議員

○JT跡地について

Q.子育て支援センター建設計画及び医療モールの現況について

A.子育て支援センターについては、9月までに計画が示せるように努力いたします。医療モールについては、受入れ態勢は整っていますので、ウエルシアも、積極的に勧誘に取組んでいることでいましばらく様子をみたいと考えています。

○ふれあいの里幼稚園について

Q.今後の進め方について

A.平成22年3月度廃園予定で進めている。跡地利用については、小学生低学年を対象とした学童保育とし、なのはな児童クラブとたんぽぽ児童クラブを統合した施設で利用したいと考えている。

○染谷川改修工事について

Q.改修工事及び圏央道インターチェンジの雨水対策（染谷川水路との関連）をどのように検討されていますか。

A.染谷川周辺の冠水対策は、染谷川の改修事業が必要不可欠であるため改修に向けて努力していますが、現在は水路の点検を行い、ゴミの除去、除草作業と冠水対策をすると共に、今回は臨時交付金の中で一部浚渫工事を予定しています。圏央道インターチェンジの雨水対策は調整池をつくり対応すると国から連絡あり、最終的に染谷川に流入いたしますので事業認可区域外であるが、インターから県道境・若線までの改修を国に実施していただくよう染谷川工事とは別に要望しているところです。

○公民館講座（パソコン教室）について

Q.パソコンの維持管理は、どのようになっているか。

A.生涯学習課において、修繕あるいは他のパソコンを補充して現在はお願いしているところです。

○医療費助成について

Q.医療費助成（無料化）小学校6年生まで拡大（現在は6歳未満児まで）できないか。

A.対象年齢を小学生まで拡大した場合、推測ですが対象者が1千500人増となり、現在の医療費でいきますと約3千200万円となります。安心して子供を生み育てる事業の重要性というものを考えますと、財政面もあるが来年度あたりは前向きに検討していきたい。

議席9番　内海　和子議員

Q.町づくりについて

A.子育て支援を充実させた安心安全安定の町づくり。

Q.公募枠は

A.住民参画の公募については当て職の問題もあるので、整理し検討していく。

Q.女性たちの能力も活用すべきと思うが、登用は

A.男女共同参画プランにある女性参加率30％に向けて努力する。（現在10％）

Q.今回の選挙では初めて立候補者全員の公報紙が出された。これは内海が10年前の最初の質問がきっかけで発行されたもので、今後この制度が定着すれば民主的で良い町になっていくと信じる。費用はどのぐらいかかったのか？

A.8千500部発行で22万8千270円である。

Q.選挙時のポスター掲示場所の検討は

A.適正な場所があれば検討する。

Q.選挙に入ってから失格になった候補者がいたが、事前に知らせることは出来なかったのか

A.立候補届け出についてはあくまで書類の形式審査のみの権限なので、立候補を阻止できなかった。

Q.中央公民館のお手洗いの洋式化と図書室の利用時間の延長は

A.現状等把握してどちらも検討していく。

Q.人間ドックの検診受付時の対応は

A.今回は40歳から70歳へと拡大した